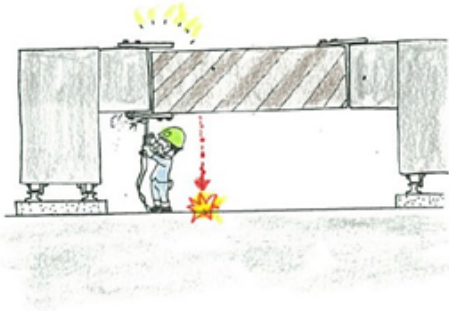


③ 飛来落下

台車の解体中に桁が落下、 真下で作業していた本人が下敷きに

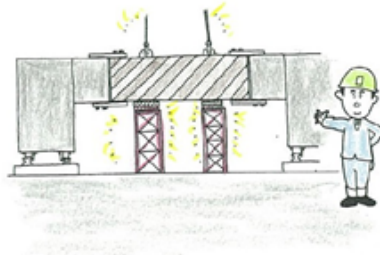
発生状況



台車解体作業中、継ぎ板を切断しようとした際、桁が外れて落下、真下で作業していたため下敷きとなり死亡

原因

- ✓ 落下防止措置がなかった（解体部材（桁）が受け架台等で支持されていなかった）
- ✓ 解体手順を間違えた。落下の恐れのある作業に対する危険性の認識不足
- ✓ 解体作業の要領・手順の整備が十分でなく、作業者の危険性の認識も乏しかった



防止対策

- ✓ 受け架台の設置もしくはクレーンで吊り、落下防止措置をする
- ✓ 解体作業手順をよく確認し、落下の恐れのある物の下では作業しない
- ✓ 解体作業の要領・手順に加え、その危険性を作業者に十分教育する



POINT!

落下の恐れのある解体作業では
必ず落下防止措置を！



DATA

発生年月日
1999.11.10

発生場所

工場内

作業名・作業内容

進水台
解体作業

死傷病名

頭蓋骨骨折
内臓破裂

職種

社/協

年齢

経験年数

取付職

社員

40才

22年

KY基礎4R

忘れないで

導入 整列・番号・挨拶・健康確認

第1R	現状把握	どんな危険がひそんでいるか イラストを見て、考えられる危険をどんどん出し合う。
第2R	本質追求	これが危険のポイントだ 危険のポイントを絞り込む。
第3R	対策樹立	あなたならどうする
第4R	目標設定	私達はこうする
確認		指差呼称項目を決める

